

# ラット脊髄損傷モデルを用いた後肢運動機能評価

## 1. モデルの特徴

本モデルは重錘落下法(MASCIS使用)によるモデルです。  
側索の損傷が広範囲に渡るため、後肢運動機能障害が高度なモデルです。  
従って、重度の排尿機能障害を伴い、全身状態の悪化を引き起こしますので、術後のケアが必要となります。

## 2. モデル作製方法

ペントバルビタール(50mg/kg,ip)麻酔下に第9～10胸椎を半椎弓切除、障害部位を露出させ、直ちに MASCIS Impactor (Rutger university, USA) を用いて、重錘落下による脊髄損傷を作製する。



## 3. 評価項目

- 1) 一般状態
- 2) 体重
- 3) 後肢運動機能評価
  - (1) Basso, Beattie, and Bresnahan (BBB)テスト
  - 21段階評価法(0:完全麻痺～21:正常)
- 4) 病理組織学的検査

## 4. 投与経路

経口、静脈内、腹腔内、皮下、筋肉内、  
経鼻、髄腔内

